

緊急 高齢者の交通死亡事故防止情報（注意報）【第2回目】

1 依頼事項

本年2月23日に、平成30年第1回目の本注意報を発出後は高齢者が死亡する交通事故の発生は収まっていたものの、5月3日に山梨市内で電動車椅子を使用の85歳女性が特急電車と衝突する死亡事故が発生し、その後は断続的な発生があり、5月24日に発生した2件の事故により、再び「高齢者の交通死亡事故防止運動実施要領」に定める発出基準（60日間で5件以上）となりました。

本年は、交通事故死者数が過去5年間において最多ペースで推移する中、死者に占める高齢者の割合は、5月27日時点では57.9%と平成29年中の48.6%を上回る状況にあり、高齢者の交通安全対策が課題となっております。

つきましては、次のとおり情報提供をしますので、市町村、関係機関・団体等におかれましては、県内の交通事故発生状況に対する危機意識を共有し、保有する媒体を最大限活用した迅速できめ細かい広報、街頭における高齢運転者・歩行者に対する直接指導、会合等の機会を捉えた交通安全教育などの事故防止対策を徹底し、平穏な日常が一変する悲惨な交通事故が県内で増加している危機的状況を県民の皆様にお伝えすることにより、交通安全の気運情勢に一層努めていただきますようお願いします。

2 県内の交通事故発生状況

県内の高齢者を含む全体の交通事故発生状況（対前年比）【5月27日時点】

- | | | |
|-------------|---------|-----------------|
| ○発生件数 | 1,428件 | (-167件、-10.5%) |
| ○負傷者数 | 1,829人 | (-224人、-10.9%) |
| ○死亡事故件数・死者数 | 18件、19人 | (+4件+5人、+35.7%) |
| うち高齢者死者数 | 11件、11人 | (+4件+4人、+57.1%) |

※ 5月27日時点における死者数

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
全年齢	15	11	16	14	19
うち高齢者	6	4	12	7	11

3 高齢者の交通死亡事故の状況

（1）死亡事故発生状況（5月27日時点）

- | | | | | | |
|-----------|----------|----|--------|----|--------|
| 発生件数（死者数） | 11件（11人） | | | | |
| 1月 | 4件（4人） | 2月 | 2件（2人） | 3月 | 0件（0人） |
| 4月 | 0件（0人） | 5月 | 5件（5人） | | |

※ 第1回目の情報提供後、交通事故によるものと判定され、1月に1件が追加されています。

（2）死亡事故の状態別内訳

- ・歩行中等（6件、6人）
- ・自動車運転中（4件、4人）
- ・自動車同乗中（1件、1人）

(3) 注意報発出に関する交通事故の状況については、別紙のとおり。

4 広報・啓発時における留意点

(1) 高齢運転者に対してお願いして欲しいこと

- ・ 慣れた道でも漫然とした運転にならないよう、基本の励行と交通ルールを遵守すること
- ・ 自己の身体機能に応じた安全運転を徹底すること
- ・ 体調管理を徹底すること（体調不良時は運転を控える）

(2) 高齢歩行者に対してお願いして欲しいこと

- ・ 安全・確認の徹底と交通ルールを遵守すること
- ・ 近くに横断歩道がある時は、横断歩道を利用すること
- ・ 夜間は反射材の着用を徹底すること
- ・ 電動車椅子（シニアカー）使用時は路面の凹凸、傾斜、側溝等へ注意をするとともに介助者の同行が望ましいこと

(3) その他（全年齢層の皆様へ）

- ・ 高齢運転者、高齢歩行者の特性を踏まえた安全運転を徹底すること
- ・ 行楽期における地理不案内な県外車両に対する注意喚起（脇見による事故が発生している）

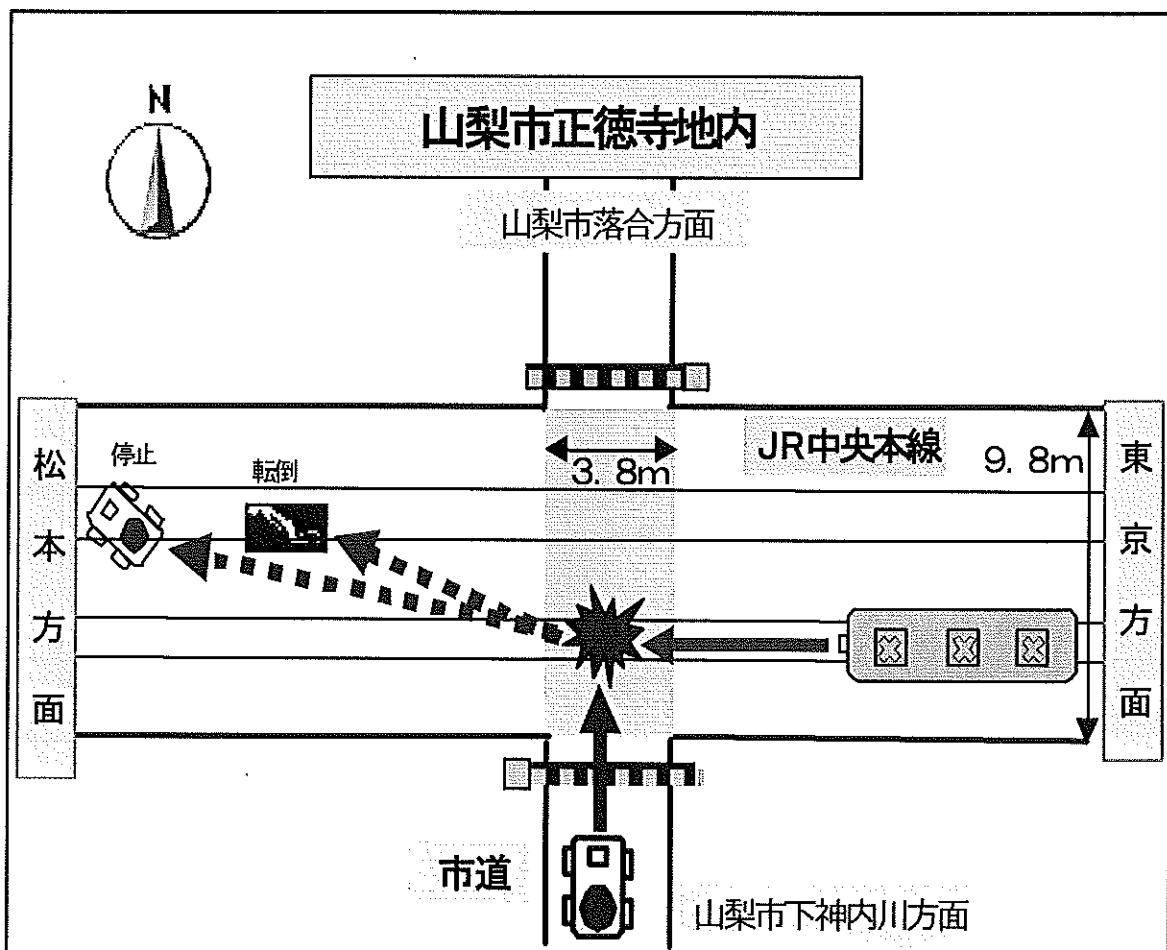
各交通死亡事故の発生状況

事例①

概要

5月3日(木)午後7時6分頃、山梨市正徳寺地内のJR中央本線踏切内において、山梨市下神内川方面から山梨市落合方面に向けて踏切を横断中の85歳女性運転の電動車椅子が、何らかの原因により停止し、同人が車椅子の後部に留まっていたところ、東京方面から松本方面に向けて進行してきた特急列車と衝突したもの。

この事故で、85歳女性が多発外傷により死亡した。

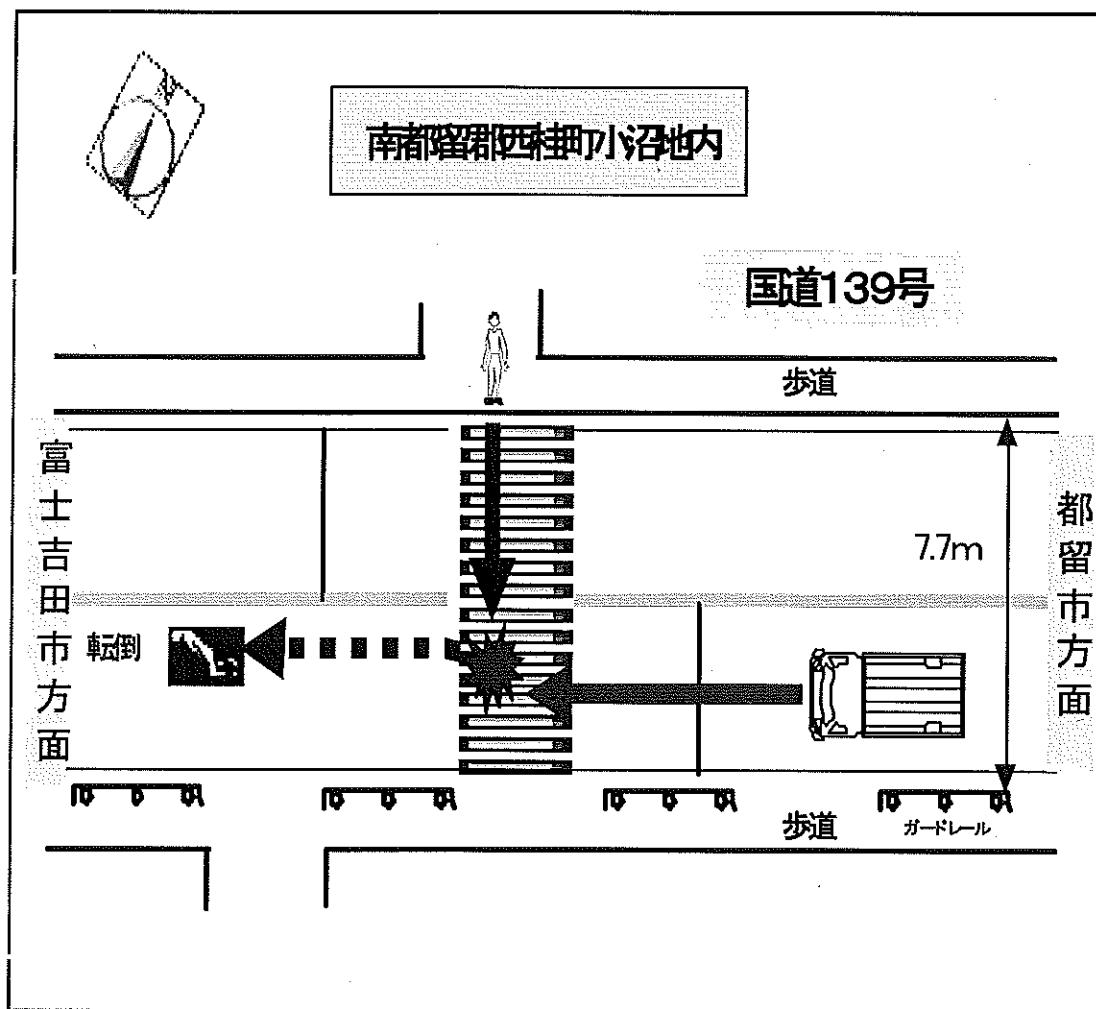


事例②

概要

5月7日(月)午後0時10分頃、西桂町小沼地内の国道139号において、都留市方面から富士吉田市方面に向けて進行する78歳男性運転の軽四貨物車が、進路前方の横断歩道を右方向から左方向に横断する83歳女性と衝突したもの。

この事故で、歩行者の83歳女性が重症頭部外傷により死亡した。

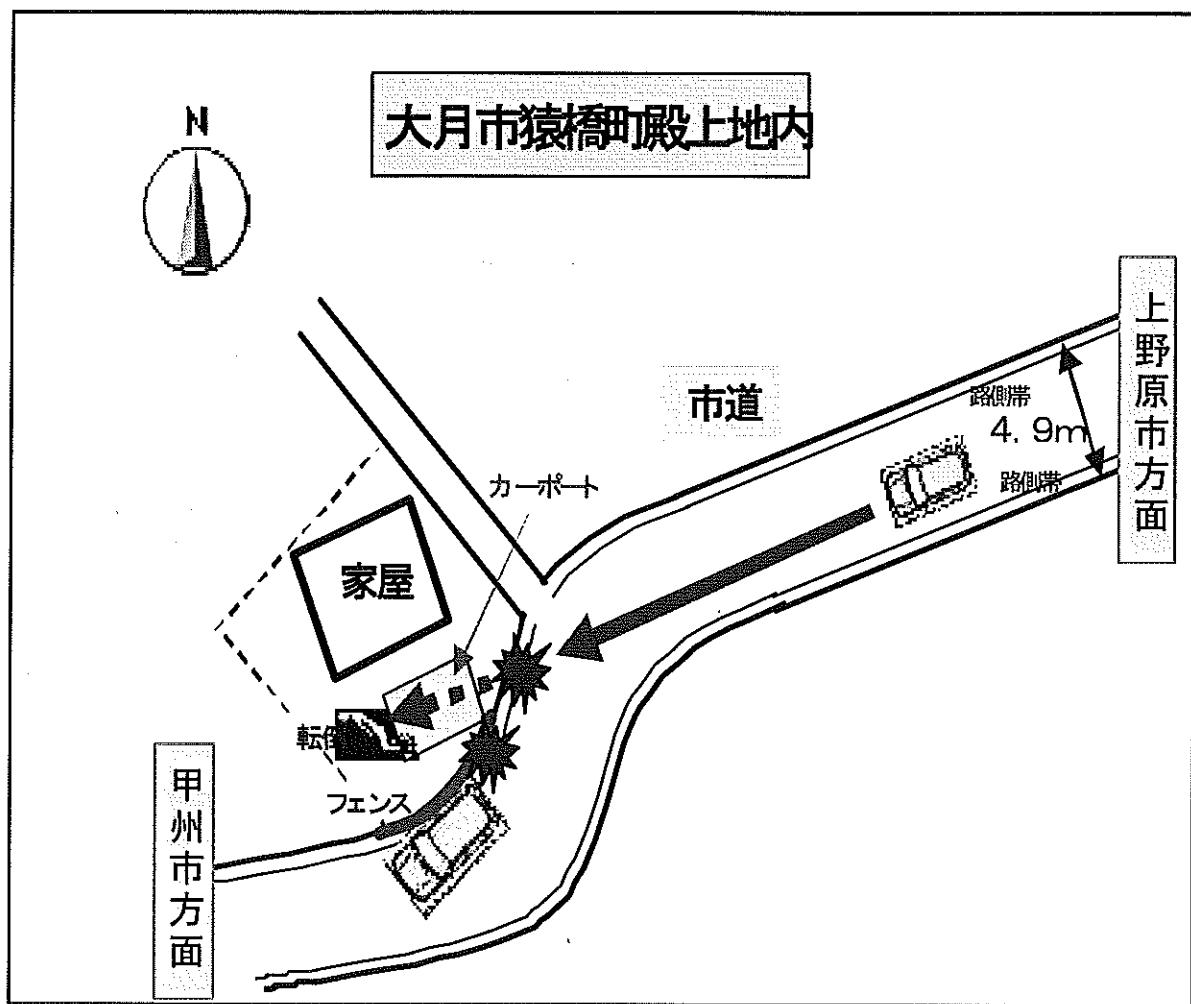


事例③

概要

5月15日(火)午後1時50分頃、大月市猿橋町殿上地内において、上野原市方面から甲州市方面に向けて進行する75歳男性運転の普通乗用車が、何らかの理由により、緩やかな左カーブを直進したため、歩行中の86歳男性に衝突したもの。

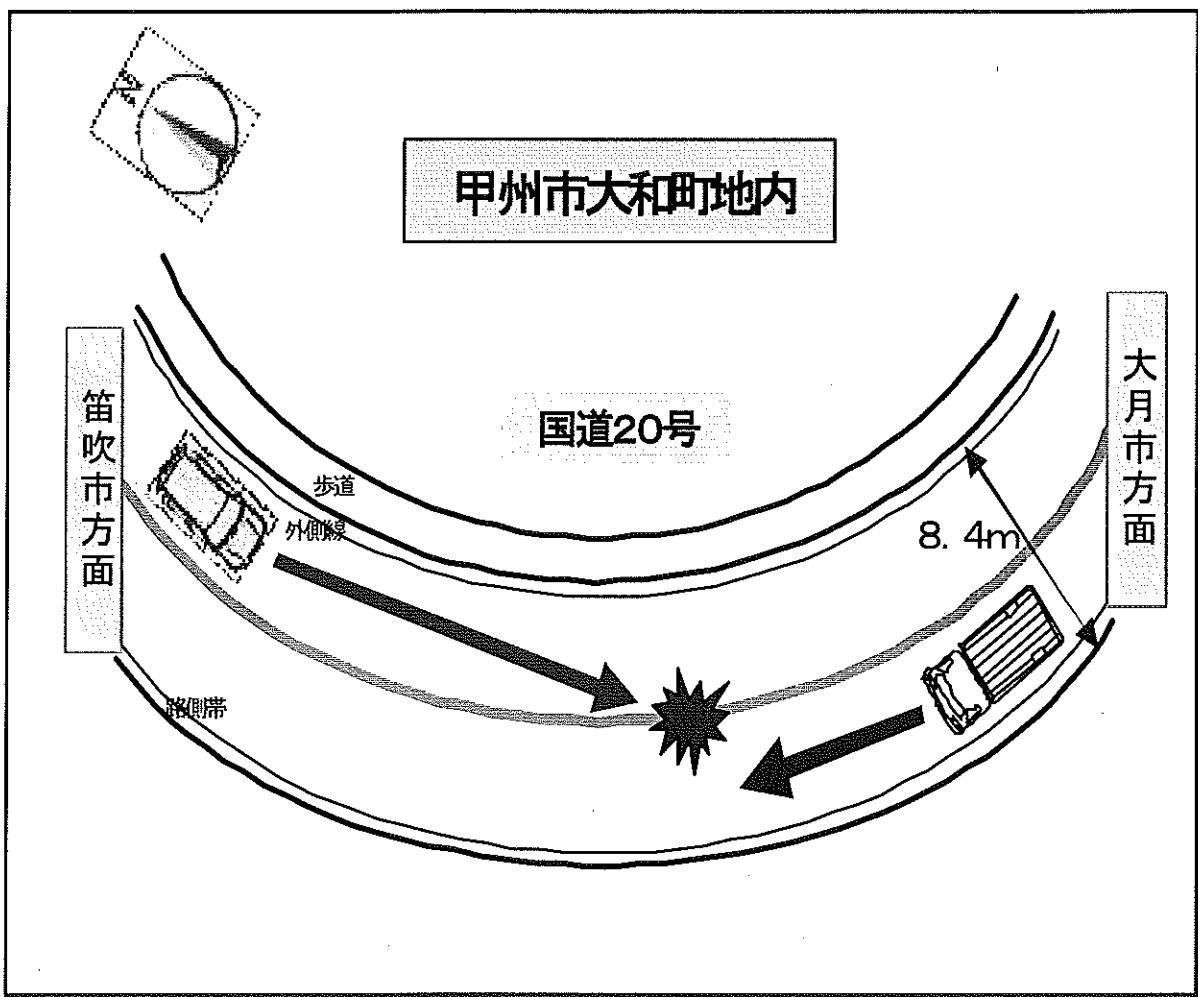
この事故で、86歳男性が骨盤骨折により失血死した。



事例④

概要

5月24日（木）午後1時頃、甲州市大和町地内の国道20号において、笛吹市方面から大月市方面に向けて進行する61歳男性運転の軽四乗用車と、対向から進行して来た48歳男性運転の準中型貨物車と衝突したもの。この事故で軽四乗用車に同乗していた93歳女性が多発外傷により死亡した。



事例⑤

概要

5月24日（木）午後8時30分頃、韮崎市円野町地内の県道において、北杜市方面から南アルプス市方面に向けて進行する42歳男性運転の普通乗用車が、進路前方を同方向に歩行中の81歳男性と衝突したもの。

この事故で81歳男性が重症頭部外傷等により死亡した。

